

English Wind

小学校全教職員及び

中学校英語科担当教員配付

英語教育の



1 「2020年度ふくしま小学校外国語教育推進プラン」～小学校いよいよ全面実施～

本日、「2020年度ふくしま小学校外国語教育推進プラン」をお示しいたしました。2020年度は、小学校における学習指導要領（平成29年告示）に基づいた教育活動が全面実施となります。各小学校の教育課程編成及び授業づくり等において、十分な準備をした上で、4月からの全面実施を迎えることができるようにしたいものです。

2020年3月 福島県教育委員会

2020年度 ふくしま小学校外国語教育推進プラン

プラン作成の主旨

2020年度からの学習指導要領の全面実施（小学校）における小学校外国語教育の早期化・教科化に対応するために、「人事・組織関係」「資料関係」「研修関係」の3つの観点から、各小学校及び各関係機関が連携して具体的な取組を推進し、**「小学校における「質の高い授業」の実施により、外国語教育の充実を図ります。」**

県教育委員会は、小学校における新たな外国語教育の円滑な導入や小・中接続などを踏まえ、各校の実態に応じた「教科担任制」を推進するとともに、研修の充実や分かりやすい情報提供に努めるなど、児童が主体的にコミュニケーションに取り組む「質の高い授業」の実現を支援します。

人事・組織関係：採用や人事配置を工夫します。

資料関係：外国語教育だより「English Wind」等でタイムリーな情報提供に努めます。

研修関係：研修内容を充実させます。

実践関係：授業づくりを支えます。

学校：人事配置を工夫します。 研修の充実を図ります。

学校：情報提供を充実させます。 授業の充実を支援します。

各教育事務所 義務教育課 高校教育課

※ 本プランの詳細については、別紙「2020年度 ふくしま小学校外国語教育推進プラン～具体的な内容～」をご覧ください。
 ※ 上記「小学校」は「義務教育学校前期課程」を、「中学校」は「義務教育学校後期課程」を指します。

2020年3月 福島県教育委員会

2020年度 ふくしま小学校外国語教育推進プラン～具体的な内容～

人事・組織関係：採用や人事配置を工夫します。

① 小学校英語教育の実施に効果的な専科指導教員の定数確保（次期評価）
 文部科学省の追加措置を活用し、県内各地域に英語専科教員を配置します。

② 推薦リーダーの成果の普及
 ふくしま外国語教育推進リーダー（専科推薦型）は授業実態を基に、英語教科担任リーダー（中央研修）は授業実践を通して、英語教育の成果を普及させます。

③ 2021年度以降も学校教員を積極的採用
 外国語（英語）免許取得者及び英語専攻取得者の積極的な採用に努めます。具体的には正式採用試験要項で示します。

④ 大学との連携
 外国語・英語・教育に関して、英語資格取得の促進や授業づくりについて、大学との連携を推進します。

資料関係：タイムリーな情報提供に努めます。

① ■■■■■ 外国語教育だより「English Wind」等を通じて ■■■■■
 「カリキュラム・マネジメント」に関する情報提供に努め、2020年度の全面実施に対応し、各小学校で適切な取組ができるよう支援します。

② 県内外の先進校事例に関する情報提供に努め、各小学校で指導方法や取組事例を共有できるように支援します。

③ 評価（CAN-DOリストを含む）に関する情報提供に努め、各小学校で2020年度の全面実施による教科化に対応できるように支援します。

④ 指導法の工夫・改善に関する情報提供に努め、各小学校で新しい教材等を活用できるように支援します。

⑤ イングリッシュ・コンパスを軸に、指導方法等に関する情報提供に努め、授業実践を支援します。

⑥ 「イングリッシュ・コンパス」を活用し、小・中・7年間を貫通した一貫した授業改善の推進を支援します。

研修関係：研修内容を充実させます。

① 小学校英語スタートアップセミナー（義務教育課）
 2020年度からの小・中・高外国語教育における早期化及び教科化に対応し、授業実践を支援し、具体的な指導方法について研究協議を深めるなど、小・中接続を促進した研修形態で、新学習指導要領における指導の円滑化に関する実践的な研修を実施します。

② 『基本研修実施』及び『小学校外国語教育推進研修』（高校センター）
 効果的なT・Dの作り方や実践について学ぶため、新学習指導要領や新教材についてのワークショップを取り入れ、研修を実施します。

③ 個別指導「小学校外国語教育・外国語科担任」において、新しい教材等を活用し、英語活動を通じた授業づくりについての研修を実施させます。

④ 小学校の先生方の声に対応
 県内各研修、各研修会でのアンケートや先生方の声に柔軟に対応し、授業改善及び研修会等に生かします。

実践関係：授業づくりを支えます。

① 英語イオンアピア校（義務教育課）
 英語イオンアピア校（イオン）等への訪問や実践及び研修への支援を通して、授業づくりを支援します。

② 英語イオンアピア校（イオン）等への訪問や実践及び研修への支援を通して、授業づくりを支援します。

③ 英語イオンアピア校（イオン）等への訪問や実践及び研修への支援を通して、授業づくりを支援します。

④ グローバル人材育成推進先駆者教育実践事業（高校教育課）
 英語スタートアップ研修において、英語資格試験の受験料の一部補助することや受験を促進し、自身の英語力の客観的把握を行い、授業改善に努めます。

⑤ 外部専門機関と連携した英語指導力向上事業（文部科学省）
 公津地区をモデル地区として、小・中・高の接続を推進します。

※ 上記「小学校」は「義務教育学校前期課程」を、「中学校」は「義務教育学校後期課程」を指します。

2020年度、県教育委員会は、過日配布済みの「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」を軸に、様々な研修会等をとおして、先生方の授業づくりのための更なる支援を推進します。豊かな言語活動を通じた「ふくしまの新たな英語教育」を目指して、小学校の先生方のみならず、中学校の英語の先生方と連携し、子どもたちが笑顔で英語の世界へ羽ばたいていけるように、ともに歩みを進めていきましょう。

なお、具体的な説明を加えた別紙「2020年度ふくしま小学校外国語教育推進プラン～具体的な内容～」も、併せてお読みいただき、より理解を深めていただければと思います。

また、義務教育課HPには、「ふくしま外国語教育推進リーダー」の先生方が作成した指導関係資料が多数掲載されています。大変参考になりますので、御活用ください。（3月上旬に、追加で二回目の掲載をしました）

English Compass

ふくしま・イングリッシュ・コンパス

～英語教育の羅針盤～

豊かな言語活動を通して、ふくしまの新たな英語教育を目指して

イングリッシュコンパスとは?

「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」は、先生方の授業づくりを支援するためのツールです。外国語教育推進リーダーが作成した実践事例や指導方法に関する情報を掲載しています。各学校で活用することで、授業づくりの質を向上させることができます。

ぜひ、イングリッシュコンパスを活用して、授業づくりを支援しましょう。

授業づくり等の場に関して、必要情報とリンクします

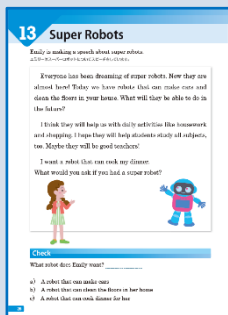
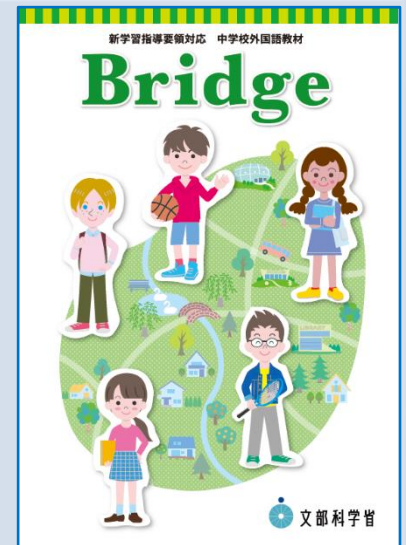
PDF版はこちら!

「参考資料」を基に、準備を進めていきましょう!

文部科学省から「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」が配布される予定です。今までお伝えしてきたように、各校で評価規準の準備等に取り組み、新学習指導要領に対応した学習評価ができるよう準備を進めていきましょう。県内では、すでに評価規準(案)を作成済みの地区などもあります。各校の実態に応じて、「記録に残す評価」などの計画を整備していきましょう。

● Bridge の活用について

- ・ 中学校外国語補助教材 Bridge は、令和2年度の中学校1年生及び2年生に配布されます。
- ・ 令和3年度から全面実施となる中学校学習指導要領中学校外国語については、現行学習指導要領には含まれていない、新たな内容が盛り込まれます。
- ・ 新しく追加された内容がどの学年で学習することになるかは、令和3年度以降に各学校で使用する教科書によって異なることとなりますが、移行期間中に学習することができるようにこの教材は作成されています。
- ・ 新しい文法事項を用いて、英語で読んだり書いたり話したりするコミュニケーションを通して理解することができるような構成となっています。



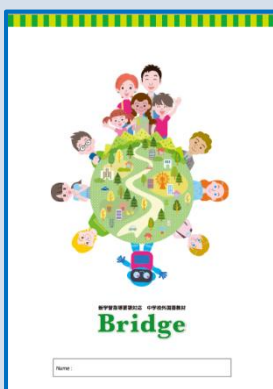
● 各読み物と新たな内容の構成(以下、略称)について

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ・ 感嘆文のうち基本的なもの | 1・2・4 |
| ・ 主語＋動詞＋間接目的語＋that(what)で始まる節 | 17・18 |
| ・ 主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞 | 3・6・8・15 |
| ・ 主語＋be 動詞＋形容詞＋that で始まる節 | 5・14 |
| ・ 現在完了進行形 | 9・10・13 |
| ・ 仮定法のうち基本的なもの | 7・11・12・16 |



● 内容と特徴について

- ・ 以下のような紙面構成になっています。単元の後半で教科書とは別の初見の英文を読ませる、「読むこと」に特化した単元の終末で使用する、「帯活動」などで継続的に活用する、宿題として取扱うなど、各校の実態に応じて、移行期間中の学びを豊かなものにしてください。



様々なテキストタイプ

ポスター、電子メール、SNSなど、実生活でも目にするいろいろなテキストタイプを使用

短めのテキスト

学校での使用時間、家庭学習での使用も視野に入れたテキストの量で、教師・生徒の負担感に配慮

全体をととして

文脈の中で、新出の語彙や文法事項に出会い、想像しながら読み進められる内容

できるだけ出合った文法事項を使う
必然性のある課題設定

QRコードを添付

活動に必要なテキストなどの音声を再生可能

Check

テキストの内容を短時間でチェックできるシンプルな問題

Talk

読んで話す[やり取り]活動を意識した課題設定

Write

読んで書く活動を意識した課題設定

先生方へ

この教材は、令和2年度に中学校第1学年・第2学年に在籍する生徒の皆さんが、令和3年度から始まる新しい中学校学習指導要領(平成29年3月告示)において追加された内容を、移行期間中に学習することができるようにするために作成しています。新しい文法事項を用いて、英語で読んだり書いたり話したりするコミュニケーションを通して理解することができるような構成としています。

新しく追加された内容がどの学年で学習することになるかは、令和3年度以降に各学校で使用する教科書によって異なることとなります。各学年の教科書で学習する内容をご確認の上、必要となる部分を、計画的にご活用いただけましたら幸いです。